

第1799回例会

6月23日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話
会員 千原浩一君 「ウイスキー あれこれ」
2. 出欠
出席 35名 欠席 21名 出席率 62.50%
3. 幹事報告
・城北地区開発促進同盟会への寄付贈呈
4. ニコニコボックス
畠君、辻君、千原会員の講話を、楽しみにしています。
合計 2,000円 (累計 684,000円)

第1800回例会

6月30日(木) 晴れ 18:30~21:00 松魚亭



★会長、最後のご挨拶です。



★辻幹事も、お疲れ様でした。



★ゴルフコンペ、会長賞は安宅会員へ



★木下・中村(芳)会員にバトンタッチです。



★木下会長エレクト閉会のご挨拶



★会長による、閉会の点鐘

1. 点鐘
- ① ローターソング「それでこそロータリー」
- ② 会長挨拶
- ③ 辻幹事挨拶
- ④ 現会長・幹事より次年度会長幹事へバッチ贈呈
- ⑤ 松魚亭より会長、幹事へ花束贈呈
- ⑥ ニコニコボックスの披露
- ⑦ 乾杯
- ⑧ ゴルフ成績発表
- ⑨ 閉会の挨拶 木下会長エレクト
- ⑩ ローターソング 「手に手つないで」



★宴会風景です。

2. 出欠
出席 30名 欠席 26名 出席率 54.55%
ご夫人 10名

3. ニコニコボックス
畠君、辻君
最終夜間例会に来ていただき、有難うございます。今夜は楽しんで下さい。
高畠君
会長はじめ、各委員長さん、一年間ご苦労様でした
濱井君
畠・辻丸の凱旋と、木下・中村(芳)丸の船出を祝して。
中田君
今年一年、企画を担当させていただきました。有難うございました。

会長/木下和吉 会長エレクト/玉田善明 副会長/奥田久雄 幹事/中村芳明 副幹事/小泉幸雄 会場監督/芳網大介
会計/辻利陽 クラブ広報委員/越田和好 会員数/52名 クラブ設立/昭和48年10月3日
●例会日/木曜日12:30~13:30 ●例会場/松魚亭 金沢市東山1-38-30 TEL:076-252-2271 FAX:076-252-2273

勝田君
会長・辻幹事・役員の皆様、一年間お世話になりました。しばし、ゆっくり休んで下さい。
山上君
本日のコンペで、久々に優勝させていただきました。明晩は、魚づくし、鰻井パーティします。
安宅君
ゴルフ同好会の皆様は、ほんとに優しいメンバーばかりです。会長賞を受賞いたしました。会長ありがとうございます。メンバーの皆様、次年度もご協力を。
合計 15,000円 (累計 699,000円)

6月クラブ日誌

9日(木) 新旧クラブ協議会 松魚亭にて
23日(木) 臨時理事会 松魚亭にて
30日(木) 最終夜間例会 松魚亭にて

第113回ゴルフコンペ成績

平成23年6月30日(木)片山津GC 白山コース

	O	I	G	H	N	
優勝	山上 公介	38	41	79	6	73
準優勝	横井 清治	55	53	108	30	78
第3位	安宅 雅夫	40	42	82	3	79
第4位	小泉 幸雄	51	51	102	21	81
第5位	川面 正雄	45	45	90	8	82
第10位	高畠 菊丸	53	52	105	17	88
B B	上田 宏暢					
畠善昭会長杯	安宅 雅夫					
ニアピン	山上(2)、中村(實)、大澤					
3打	山上、水巻					

7・8月の例会変更のご案内

-金沢RC.....
- 7月27日(水) 18:00~金沢ニューグランドホテル「納涼懇親会」
- 8月3日(水) 時間未定 兼見御亭「早朝例会」
- 8月17日(水) 休会
-金沢東RC.....
- 8月15日(月) 休会
- 8月29日(月) 18:30~金沢国際ホテル「夏の納涼例会」
-金沢西RC.....
- 8月5日(金) 18:00~場所未定「納涼例会」
- 8月12日(金) 休会
-金沢南RC.....
- 8月9日(火) 18:30~流亭「納涼例会」
- 8月16日(火) 休会
-金沢北RC.....
- 8月4日(木) 18:00~白糸川床にて「納涼例会」
-香林坊RC.....
- 8月8日(月) 時間場所未定「納涼会」
- 8月15日(月) 休会
-みなどRC.....
- 8月16日(火) 休会
-百万石RC.....
- 7月28日(木) 19:00~招龍亭

講話予定

- 7月7日(木)
会長・幹事ご挨拶
- 7月14日(木)
理事・役員ご挨拶
- 7月21日(木)
草笛ランチコンサート



ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

金澤北ロータリークラブ

No.868

発行 2011.7.7thu

事務局/金沢市尾山町9-13金沢商会議所内
TEL:076-222-2525 FAX:076-224-2882
E-mail:k-kitarc@angel.ocn.ne.jp

題字/大場松魚



画/小松砂丘

「春日山窯図」

春日山窯は、加賀藩が文化年間京都より青木木米を招聘しその指導のもと、卯辰山に九谷焼を再興するために築窯されました。当クラブの例会場も同じ卯辰山の地にあるという繋がりでも、今年度は「春日山窯図」を年間通しの表紙とします。さらに別ページで、春日山窯を含む金沢の工芸の流れを受け継ぐため創られた卯辰山工芸工房の取組品を始めとして、順次この地区にゆかりのものを紹介して行きます。



金沢北ロータリークラブ 会長 ごあいさつ

木下 和吉

この度、名誉ある金沢北ロータリークラブの会長を引き受けることになりました。1987年9月に入会以来33年間、多くの事を学ばさせていただきました。又多くの友人、知人にお逢いすることもできました。私にとってロータリーは、学びの場であり友情を育む場でもありました。当北ロータリークラブがテーマとしている「集いで図る心はひとつ」から今回の会長のテーマとして「ロータリーで学び“和”でやすらぎ」を掲げさせていただきました。名誉ある当ロータリークラブの会長には、私は適任だ、とは思っていないことを充分自覚しながら、与えられた立場を誠心誠意務めさせていただきます。

会員諸兄のご指導、ご協力と寛容な気持ちでお願い致します。時あたかも3月11日に、国内はもちろん世界的にも未曾有の大惨事が発生しました。東日本大震災、大津波そして原発における放射線物資の被害、自然災害と人的災害が重な



金沢北ロータリークラブ 幹事 ごあいさつ

中村 芳明

今年度、木下和吉会長の下で幹事をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

先の東日本大震災の被害に遭われた皆様に、お見舞いを申しあげます。今後の復興が新しい東日本を創り上げることを期待しています。

私はロータリーに入会してまだ8年の若輩者でございますが、ロータリーは役職を推薦されたら答えは「YESかハイ」の返事しかないと、入会当時に諸先輩から言われ続けてまいりましたので、断る理由もなく引き受けました。幹事としての役割もわからない私ですが、一つ一つ積み重ねて勉強させていただきますので、皆様の暖かい寛容な精神でご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

今年度の会長のテーマは“ロータリーで学び、和でやすらぎ”を掲げています。木下会長と会の運営をどのように進めようかと相談した時、二人とも“和”で行きましょうと意見がぴったり合いました。まさに阿吽の呼吸でした。これならうまくやっていると、感じた次第です。私も仲間同士の和が大事だと思います。せっかく縁があって金沢北ロータリーの一員となった仲間ですから、北ロータリーをひとつの輪として、会員同士の

り日本経済に与えた大きなダメージは図り知れません。我々ロータリーにとっても大きな問題だと思えます。この様な時こそ、ロータリー精神を継承すべきだと思います。当年度は、磯野会長・安宅会長・畠会長と歴代の会長が提唱されてきたCLPについて特別委員会を組織し、一定のメドをつけるべき年度だと思っております。会員諸兄のご協力の程を、お願いしたいと思っております。当北ロータリークラブの会場近くで金沢市が某施設を取得する予定と聞き及びの事と思いますが、我々のテリトリーの近くでもあり重要な所でもありますので何らかの協力対策が必要かと思えます。

会の運営についても、周囲の経済環境を考慮しクラブ運営についても進化していく時でもあると考え、問題提起をさせていただきます。以上よろしくお願い致します。

和を今まで以上に親密なものとした会の運営ができればと思っています。そして、仲間の信頼関係をさらに深め、仕事上の付き合いをしながら職業奉仕の実践を目指したいと思えます。

今まで、ロータリーでは様々なことを学ばさせていただきました。また、気づくことも多くありました。これからも学ぶ機会にめぐまれることが多いと思えます。決断しなければいけないとき、学び続けることよりの確な判断を下す心を持つことが出来ると考えています。

私の職業は、建築、造園、土木とランドスケープデザインです。仕事から、常に考えてしまうことがあります。それは、スムーズな人の流れと程よいバランス、そして楽しいかを考えてしまう癖があります。北ロータリーの幹事として会の運営にあたり、この癖が出てくるかと想います。会がスムーズに流れ、バランスよく皆が楽しめる北ロータリーとなるように、この一年勤めさせていただきます。最後に、今一度皆様にご協力をお願いいたしまして、幹事の挨拶とさせていただきます。

TK-絆プロジェクトF

玉田善明

3月11日の東日本大震災は未曾有の傷跡を残し、今も福島第一原発事故は将来に渡り大きな負荷を掛ける事と成ってしまいました。この原発事故で発生した大量の汚染水格納タンクを当社関東工場にて一手に製造させて頂く事になりました。

4月14日東京電力本社にて、当社のFSF（強化プラスチック+鋼板+強化プラスチック）タンクの仕様説明をした2日後に「6月末迄に3万トンの貯蔵タンクが必要であり、製造出来るかどうか」の打診がありました。

具体的には100tタンク100基、120tタンク170基を2ヶ月で製造可能かどうかの検討です。

当社でこれまで100tタンクはせいぜいで月当たり7基程度の製造実績しか無くてこの要求された数字は桁が全く違います。

汚染水が海に洩れる事は国際的にも大変大きな反響が有り絶対に阻止しなければいけない課題です。

そこに当社のタンク製造技術と関東工場がお役に立つことであれば、当社の全能力と英知を結集して戦いに挑んでみようと思座に私は決心をしました。

この課題を達成する為には少なくとも10日程の準備期間が必要であり、その旨を申し上げたところ、4月20日東京電力より電話にて「正式に発注をするから、早急に製造の段取りを開始して欲しい」とのご依頼が有りました。

一瞬、事の重大さに身が引き締まる思いを得、正に国の浮沈が掛かっている仕事であり、当社の本当の実力が試される事を実感し旋律が走りました。

次に私は、この仕事には明確な理念が必要であり、その理念を社員、お取引先全てが共有して当たらなければ絶対に成功しないと思いました。

早速「TK-絆プロジェクトF」とテーマを決め、この国家的危機を回避する為に前代未聞の短期間に大量のタンク製造に挑戦する意義を高らかに宣言しました。

当社の企業価値・存在意義が大きく輝くことに社員は誇りとプライドを持ってこのプロジェクトに参加することに燃えました。

又、お取引先は何をさて置いてもこのプロジェクトを優先して対応して貰う事に一生懸命に成って頂きました。

具体的には①4月30日より昼夜2交代シフトで工場を休み無しとする②北陸工場及び九州工場の社員は全て関東工場にてプロジェクトの仕事をする③当社の従来の製品造りは外注にてお願い

する④このプロジェクトに総責任者、資材担当、技術担当、検査担当、総務担当等専任者を任命する⑤100人規模での分散宿舍の手配を早急にする⑥地元住民、区長等の関係者へのご理解を頂く⑦製造機械の点検と補充、新たな追加等を早急に行う⑧80人前後の外注作業員の確保を急ぐ（当社社員だけでは絶対に無理）以上の準備を10日間で実施、4月30日よりいよいよ製作開始と成りました。

多くの営業、総務畑の社員達も連休返上で慣れない手付きでタンク造りに参加をしました。

遠くに奥日光の山々や男体山を望み、鶯が鳴き、ときどき狸が出るのんびりとした当社関東工場の景色も5月に成り一変して戦いの場と化しました。

今は6月30日、お陰様で事故も無く無事に全てのタンクを納期通りに製造することが出来ました。

このプロジェクトでは多くの絆が生まれました。製造・営業・総務・業務の垣根を越えた社員の絆・・・お取引先、お客様、地域のみな様、原発でお仕事をしている人・・・様々な絆が生まれたのです。

近くの駅から工場に行く為乗ったタクシーの運転手さんが「私の自宅が工場の直ぐ近くで、夜も灯りが煌々と付いて、音も時々響くし・・・眩しくて騒がしいのを我慢しているのです・・・汚染水のタンクを造っているのだから少しは我慢しないとね」と言ってくれたのです。

すまないと言う気持ちと有難いと感謝の気持ちで、有難う本当にいろいろな人にご迷惑を掛けて仕事をしているのだと実感しました。社員お金の為だけに働くのでは無く、自分達が造るこのタンクこそが汚染水の流出を止めるのだと明確な意義・大儀を見出して居る為に頑張ったのです。

タンク架台等を製作して頂いた協力会社の社長は、社員が活き活きと仕事をしているのを久し振りで見たと本当に喜んでいました。イザという時の絆・・・頑張り・・・結束・・・今の我々日本人も結構やるね、捨てたものではないと実感した素晴らしいプロジェクトでした。



ご報告とお礼

東日本大震災について、皆様に義援金のお願いを致しておりましたが、その金額がまとまりましたのでご報告いたします。

6月28日現在、ガバナー事務所に入金された金額は73,058,988円、クラブから直接日本赤十字社などへ送金された額は、26,963,186円合わせた合計金額は、100,022,171円となりました。当初から目標にしておりました一億円を達成し、集まった義援金のうち、3,000万円はガバナー会へ送金しました。

また当地区に避難してこられた137世帯の方々に、10万円の見舞金を贈呈いたしました。残りについては、とりあえず次年度に繰り越す予定です。

第2610地区直前ガバナー 崎山武夫